福島県立医科大学 学術機関リポジトリ

FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

| | |
|---|---|
| Title | 福島県内病院における看護業務の看護補助者・他職種への委譲状況と看護師の認識との関連 |
| Author(s) | 山﨑, 久美子; 丸山, 育子; 高瀬, 佳苗 |
| Citation | 福島県立医科大学看護学部紀要. 23: 43-52 |
| Issue Date | 2021-03 |
| URL | http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1368 |
| Rights | © 2021 福島県立医科大学看護学部 |
| DOI | |
| Text Version | publisher |

This document is downloaded at: 2021-11-05T05:20:56Z

Fukushima Medical University

福島県立医科大学看護学部紀要 第23号 43-52, 2021
Bulletin of Fukushima Medical University School of Nursing

■ 報 告 ■

# 福島県内病院における看護業務の看護補助者・他職種への委譲状況と看護師の認識との関連

# Delegation of Nursing Services to assistant nurse and Other Professionals in Hospitals in Fukushima Prefecture and Relation to Nurses' Perceptions

山﨑久美子[1]，丸山　育子[2]，高瀬　佳苗[3]
Kumiko YAMAZAKI [1]，Ikuko MARUYAMA [2]，Kanae TAKASE [3]

キーワード：看護業務　看護補助者　委譲
Keywords：nursing service, assistant nurse, delegation

## Abstract

Purpose: To clarify the relationship between the status of nursing task delegation to nursing assistants and other professions in Fukushima Prefecture regarding their work.

Methods: A self-administered questionnaire survey was conducted on nurses working in hospitals in Fukushima Prefecture regarding the current and desired states of delegation of nursing duties based on their view of nursing. We calculated basic statistics, and percentages for the degree of agreement between the current and the desired states of delegation.

Results: The number of valid responses was 241 from 14 facilities. The majority of the respondents answered that they currently provided most of the assistance with patients' activities of daily living together with nursing assistants, and that this duty should be provided together with the nursing assistants or delegated to them. For example, 32.4% of foot baths are currently performed only by nurses, while 42.8% of nurses said it would be better to delegate this task. Those who perceived the workload of nurses to be high were more likely to say that some of their duties should be delegated to nursing assistants.

Conclusion: The current study showed that nurses prefer to provide assistance with patients' activities of daily living with nursing assistants or to delegate this duty to them. They also prefer to assist medical treatment.

## 要　　旨

目的：福島県における看護業務について看護補助者および他職種への委譲状況と看護師の認識の関連を明らかにする．

方法：福島県内の病院に勤務する看護師を対象に現在の看護業務の委譲状況とそれぞれの看護師が考える看護に基づいた本来の看護業務の委譲のあり方に関して自記式の質問紙調査を行った．基本統計量を算出し，現在の委譲状況と本来の委譲のあり方の一致の程度について割合を算出し，看護職の認識による差をKruskal-Wallis検定で行った．

結果：有効回答は14施設241部であった．療養上の世話は，現在ほとんど看護補助者と共に行っているが，本来は看護補助者と共に行うおよび看護補助者に委譲するという回答が多かった．診療の補助は，現在看護師のみが行い，本来も看護師だから行うとの回答が多かった．看護師の業務量が多いと認識している人ほど本来は看護補助者に業務を委譲するものと回答した．

結論：看護師は療養上の世話は看護補助者と共に行うか委譲するとし，診療の補助は看護師だから行うとし，業務量が多いと認識している人ほど業務を看護補助者に委譲するものと考えていた．

1　福島県立医科大学附属病院看護部 Department of Nursing, Fukushima Medical University Hospital
2　福島県立医科大学看護学部　基礎看護学部門 Department of Foundamental Nursing, Fukushima Medical University School of Nursing
3　福島県立医科大学看護学部　地域・公衆衛生看護学部門 Department of Community and Public Health Nursing, Fukushima Medical University School of Nursing

受付日：2020年９月18日　受理日：2020年12月22日

## Ⅰ．はじめに

看護師は保健師助産師看護師法第５条において，「傷病者若しくはじょく婦に対する療養上の世話または診療の補助を行うことを業とする者」と定められている．日本看護科学学会は，療養上の世話を「療養中の患者に対して，病状の観察をしながら食事や排泄，更衣，清潔の保持，移動，活動と休息，環境整備などの日常生活に対する援助であり，看護師の臨床的判断により実施される」，診療の補助を「医師または歯科医師が患者を診察・治療する際に看護師・准看護師が行う補助行為であり，診療に伴う苦痛緩和，症状出現の予測，状態変化への対応なども含む」と概念規定している．診療の補助が医師の指示を必要とするのに対して，療養上の世話は行政解釈からすれば医師による指示を必要としないことから看護の独立業務であると述べている[1)]．

しかし，この看護の独立業務である療養上の世話の領域に看護補助者の活用が積極的にすすめられている．まず，診療報酬において看護補助加算が充実してきている[2)]．1994年度から看護配置の低い病棟に対して看護補助加算として独立した評価がなされていたが，2010年度の診療報酬改定においては，一般病棟入院基本料の７対１等の比較的看護配置が高い病棟に対する看護補助者の配置を評価する「急性期看護補助体制加算」が新設された．さらに2012年度の改定では，それまでの50対１の配置基準をさらに上回る看護補助者等のより手厚い配置を評価する「25対１配置急性期看護補助体制加算」が設定され，同時に「夜間急性期看護補助体制加算」も新設された．また，臨地における看護補助者の活用推進のための具体的な業務例として，公益社団法人日本看護協会は「看護補助者活用推進のための看護管理者研修テキスト」[3)]及び「看護補助者活用事例集」[4)]を公表している．看護補助者に委譲するものとして，ベッドメーキングなどのリネン管理，清拭などの身体清潔，排泄介助や食事介助など多くが療養上の世話に位置づけられるものである．看護師は看護の独立業務の療養上の世話よりも診療の補助に多くの時間を割かれている現状がある[5)]．齋藤らは看護師の半数以上が，日常生活の援助に関する看護行為を大幅に看護補助者に委譲したいと報告している[6)]．中堅看護師は診療の補助業務に関心を寄せていることが影響し，療養上の世話の実施に至らないとの報告もある[7)]．日常の看護業務において療養上の世話より診療の補助が多い状態は，療養上の世話は看護独自の業務であり看護の専門であるという考えに影響をもたらすのではないかと言われている[6) 8)]．

福島県においても，看護師が療養上の世話を看護補助者に委譲していると予想されるが，委譲状況を調査したものはない．福島県において現在どのような看護業務がどの程度看護補助者に委譲されているかの調査は，看護師と看護補助者との協働のあり方を検討するための基礎資料になると考える．

また，看護業務の委譲状況が看護師それぞれの看護の専門の考えに影響しているかを検討するため，本来の委譲のあり方を調査することにした．本来の委譲とは，それぞれの看護師の考える看護に基づいた看護業務の本来の委譲のあり方である．それぞれの看護師の現在の看護業務の委譲状況と本来の委譲のあり方の差を確認し，看護師の専門性の認識と関連があるかを検討する．

## Ⅱ．研究目的

本研究の目的は，現在の福島県における療養上の世話，診療の補助に関する看護業務の看護補助者および他職種への委譲状況と看護師の専門性に対する認識との関連を明らかにする．

## Ⅲ．研究方法

### １．対 象 者

福島県内の病院の一般病床・療養病床の病棟で勤務する看護師である．超急性期病棟や周産期病棟，精神病棟，感染病棟は看護業務に特殊性があると考えたため，今回の調査では対象外とした．

### ２．調査期間

2017年９月から2017年12月の間であった．

### ３．対象者の選定方法とデータ収集方法

福島県の病院一覧から，周産期病棟，精神病棟，感染病床が多くを占める病院は除外した．病床数による３区分（病床数200床未満，200～500床未満，500床以上）の病院に分け，それぞれの病床数，および会津地方，中通り，浜通りの所在による３区分を考慮して病院を選択し，病院の看護責任者へ郵送にて研究依頼をした．研究協力の承諾が得られた病院に対象となる人数分の研究説明文書・調査用紙・返信用封筒を郵送し，各病院の看護責任者を通して，研究対象となる各看護師に配布した．調査用紙への回答は各看護師の任意とし，個別投函による回収とした．投函したことで本研究への同意が得られたとし，最終的に回収された調査用紙を集計・分析の対象とした．

### ４．調査内容

#### １）基本属性

年齢，最終学歴，看護師経験年数，役職，専門／認定看護師の資格の有無，病院の病床数，病棟の看護配置，病棟での看護補助者の有無について調査した．

#### ２）看護師それぞれの忙しさや看護の専門性の認識

文献[6)7)9)]を参考に研究者らが独自で質問紙を作成した．①私の病棟における看護業務量は多いと感じる　②私は看護師として専門的な知識を保有している　③私は看護師としてキャリアアップしたい　④私は看護判断に自信を持っている　⑤私は看護にやりがいを感じている　⑥看護職は専門職として認められているの６項目について，「非常にそう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまり思わない」「全く思わない」の５段階で回答を求めた．

#### ３）現在，主に誰がそれぞれの看護業務を行っているか

主な看護業務のうち，食事，排泄，移動，清潔などの療養上の世話に関する19項目と，呼吸ケア，処置･与薬，検査・測定などの診療の補助に関する14項目の計33項目について，現在の看護業務の委譲状況（以下，現在の委譲状況とする）を①看護師のみが行っている　②看護補助者と共に行っている　③看護補助者に委譲している　④医師など他職種と共に行っている　⑤医師など他職種に委譲しているの５つの選択肢でたずねた．なお，質問した看護業務については，厚生労働省「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会」報告書[10)]の看護技術の到達目標や，日本看護協会「看護補助者活用推進のための看護管理者研修テキスト」[3)]の看護補助者の具体的な業務例を参考に，規模に関係なく多く行われている業務として研究者らで検討し抽出した．

#### ４）本来，看護師はどの業務を行い，看護補助者や他職種にどの業務を委譲するものと考えるか

３）で挙げた療養上の世話に関する19項目と診療の補助に関する14項目の計33項目について，それぞれの看護師の考える看護に基づいた本来の看護業務の委譲のあり方（以下，本来の委譲のあり方とする）について，①看護師だからこそ行う　②看護補助者と共に行う　③看護補助者に委譲する　④医師など他職種と共に行う　⑤医師など他職種に委譲するの５つの選択肢でたずねた．

### ５．分析方法

基本属性，看護業務の現在の委譲状況と本来の委譲のあり方についての基本統計量を算出した．その後，療養上の世話と診療の補助の現在の委譲状況と本来の委譲のあり方に関しては，同じ回答をした人の割合を算出した（以下，委譲の一致の程度とする）．この割合は，（現在の委譲状況と本来の委譲あり方の回答が同じであった看護師の数）÷（現在の委譲状況と本来の委譲のあり方の両方に回答した看護師の総数）×100で算出した．そして，一致しなかった個々がより看護師がする方に回答したか，またはより他に委譲する方に回答したか（以下，委譲傾向とする）をそれぞれ合算し，百分率（%）で表した．

また，委譲傾向と看護師それぞれの忙しさや看護の専門性の認識に関する項目との関連は，Kruskal-Wallis 検定を行い，その後 Bonferroni 多重比較法を用いた．有意水準は５％とした．

集計・分析には Microsoft Office Excel 2013と IBM SPSS Statistics 25を使用した．

### ６．倫理的配慮

本研究は福島県立医科大学倫理委員会の承認（承認番号：一般29041）を得て実施した．対象となる看護師に看護責任者を通して研究説明文書・調査用紙・返信用封筒を配布した．研究説明文書には，調査用紙の回答・返信を持って参加承諾を得られたものとし，回収方法は個別投函であること，参加は研究対象者の自由意思であり，参加に同意しない／中止した場合でも不利益を受けないことを明記した．また，調査は無記名で行い統計処理するので個人が特定されないことも明記した．

## Ⅳ．結　　果

福島県内の病院27施設の看護責任者に研究依頼文書を送付し，研究の同意が得られた14施設に計457通の調査用紙を送付した．各看護師からの個別投函による調査用紙の回収を行い，253部の回答を得て（回収率55.4%），そのうち看護補助者など今回の調査対象外となる12名を除き，241部の有効回答が得られた（有効回答率95.3%）．

### １．対象の基本属性

対象者の概要を表１に示した．年齢は40歳代以上が152名（63.1%）であった．最終学歴は看護専門学校が187名（77.6%）と多くを占めた．看護師経験年数は16～25年が91名（37.7%）で20年前後が一番多かった．役職はチームメンバーが145名（60.2%）と多く，専門／認定看護師の資格がある看護師は11名（4.6%）であった．200床以上500床未満の病院で働く看護師が134名（55.6%），500床以上の病院で働く看護師は21名（8.7%）だった．看護配置は７：１が142名（58.9%），次いで10：１の67名（27.8%）だった．

### ２．看護職についての認識

看護職についての認識６項目について調査した結果を表２に示す．看護業務量を多いと感じるかについて，「非

**表１　対象者の概要**　　*N*＝241

| | | 人数 | （%） |
|---|---|---|---|
| 年齢 | 20歳代 | 30 | 12.4 |
| | 30歳代 | 58 | 24.1 |
| | 40歳代 | 100 | 41.5 |
| | 50歳代以上 | 52 | 21.6 |
| | 無効回答 | 1 | 0.4 |
| 最終学歴 | 看護高等学校専攻科 | 23 | 9.5 |
| | 看護専門学校 | 187 | 77.6 |
| | 看護短大 | 7 | 2.9 |
| | 看護系大学 | 12 | 5.0 |
| | その他 | 10 | 4.2 |
| | 無効回答 | 2 | 0.8 |
| 看護経験年数 | １～５年 | 21 | 8.7 |
| | ６～10年 | 36 | 14.9 |
| | 11～15年 | 30 | 12.5 |
| | 16～20年 | 49 | 20.3 |
| | 21～25年 | 42 | 17.4 |
| | 26～30年 | 38 | 15.8 |
| | 31年～40年 | 21 | 8.7 |
| | 無効回答 | 4 | 1.7 |
| 役割 | 病棟師長 | 22 | 9.1 |
| | 主任・副主任看護師 | 68 | 28.3 |
| | チームメンバー | 145 | 60.2 |
| | その他 | 3 | 1.2 |
| | 無効回答 | 3 | 1.2 |
| 専門／認定看護師資格の有無 | 有 | 11 | 4.6 |
| | 無 | 228 | 94.6 |
| | 無効回答 | 2 | 0.8 |
| 病床数 | 200床未満 | 81 | 33.6 |
| | 200～499床 | 134 | 55.6 |
| | 500床以上 | 21 | 8.7 |
| | 無効回答 | 5 | 2.1 |
| 看護配置 | ７：１ | 142 | 58.9 |
| | 10：１ | 67 | 27.8 |
| | 13：１ | 8 | 3.3 |
| | 15：１ | 7 | 2.9 |
| | 20：１ | 7 | 2.9 |
| | 25：１ | 5 | 2.1 |
| | その他 | 2 | 0.9 |
| | 無効回答 | 3 | 1.2 |

**表２　看護職についての認識**　　*N*＝241

| | | 人数 | （%） |
|---|---|---|---|
| 業務量は多いか | 非常にそう思う | 117 | 48.6 |
| | ややそう思う | 85 | 35.3 |
| | どちらともいえない | 30 | 12.4 |
| | あまり思わない | 6 | 2.5 |
| | 全く思わない | 1 | 0.4 |
| | 無効回答 | 2 | 0.8 |
| 専門的な知識を保有しているか | 非常にそう思う | 17 | 7.1 |
| | ややそう思う | 137 | 56.9 |
| | どちらともいえない | 62 | 25.7 |
| | あまり思わない | 19 | 7.9 |
| | 全く思わない | 3 | 1.2 |
| | 無効回答 | 3 | 1.2 |
| キャリアアップしたいか | 非常にそう思う | 44 | 18.2 |
| | ややそう思う | 101 | 41.9 |
| | どちらともいえない | 65 | 27.0 |
| | あまり思わない | 23 | 9.5 |
| | 全く思わない | 4 | 1.7 |
| | 無効回答 | 4 | 1.7 |
| 看護判断に自信を持っているか | 非常にそう思う | 8 | 3.3 |
| | ややそう思う | 90 | 37.3 |
| | どちらともいえない | 108 | 44.8 |
| | あまり思わない | 27 | 11.2 |
| | 全く思わない | 4 | 1.7 |
| | 無効回答 | 4 | 1.7 |
| 看護にやりがいを感じているか | 非常にそう思う | 18 | 7.5 |
| | ややそう思う | 121 | 50.2 |
| | どちらともいえない | 69 | 28.6 |
| | あまり思わない | 24 | 9.9 |
| | 全く思わない | 5 | 2.1 |
| | 無効回答 | 4 | 1.7 |
| 看護職は認められていると感じるか | 非常にそう思う | 37 | 15.4 |
| | ややそう思う | 123 | 51.0 |
| | どちらともいえない | 53 | 22.0 |
| | あまり思わない | 17 | 7.1 |
| | 全く思わない | 8 | 3.3 |
| | 無効回答 | 3 | 1.2 |

常にそう思う」「ややそう思う」で202名（83.9%）の看護師が看護業務量を多いと感じていた．看護師として専門的知識を保有しているかについて「非常にそう思う」「ややそう思う」と答えた看護師は154名（64.0%）であった．看護師がキャリアアップをしたいかについて「非常にそう思う」「ややそう思う」と答えた看護師は145名（60.1%）であった．看護判断に自信を持っているかについては，どちらともいえないとの回答が一番多く108名（44.8%）だった．看護にやりがいを感じているかについては，「非常にそう思う」「ややそう思う」で139名（57.7%）を占めた．看護職は専門職として認められていると感じるかについては，「非常にそう思う」「ややそう思う」で160名（66.4%）の看護師が看護職は専門職として認められていると感じていた．

### ３．現在の看護業務の委譲状況

現在の看護業務の委譲状況の結果を表３に示した．

#### １）療養上の世話について

〈食事〉に関する項目のうち，看護補助者と共に行っていたが最も多かったのは，配膳・下膳233名（96.7%），食事介助173名（71.8%）であった．看護師のみで行っていたのは，経鼻胃管238名（98.8%）や胃瘻229名（95.0%）を介した栄養剤の注入であった．〈排泄〉に関する項目のうち，看護補助者と共に行っていたが最も多かったのは，おむつ交換166名（68.9%）であった．看護師のみで行っていたのは，膀胱留置カテーテルにたまった尿の後始末は178名（73.9%），尿器･便器を使用した介助124名（51.5%）であった．〈移動〉に関する項目のうち，看護補助者と共に行っていたが最も多かったのは，歩行付き添い151名（62.7%），移乗177名（73.5%），移送196名（81.3%）であった．他職種と共に行っていたのは他の項目では1.0%に満たないが，歩行付き添いは19名（7.9%），移乗は16名（6.6%）であった．〈清潔〉に関する項目のうち，看護補助者と共に行っていたが最も多いのは，ベッドメーキング187名（77.6%），清拭163名（67.6%），洗髪145名（60.2%），口腔ケア129名（53.6%），見守りや一部介助の患者の入浴介助169名（70.1%），陰部洗浄152名（63.1%），寝衣交換181名（75.1%），洗面・髭剃り・結髪等の整容介助141名（58.5%）であった．看護師のみで行っていたのは，足浴122名（50.7%）であった．

#### ２）診療の補助について

すべての項目において，看護師のみが行っていたの回答が多かった．

〈呼吸〉に関する項目のうち，酸素ボンベの交換は54名（22.4%）が看護補助者と共に，71名（29.5%）が看護補助者に委譲していた．看護師のみが行っていたのは，気管内吸引236名（98.0%），口腔内・鼻腔内吸引233名（96.8%），ネブライザーの実施232名（96.3%）であった．〈処置・与薬〉に関する項目のうち，経口薬の内服介助は看護師のみが行っていたが179名（74.3%）で，看護補助者と共に行っていたのが62名（25.7%）であった．看護師のみで行っていたのは，経口薬の準備223名（92.5%），点滴のミキシング231名（95.9%），点滴のボトル交換241名（100%），注射235名（97.5%）であった．他職種と共に行っていた項目は〈処置・与薬〉の創傷の処置39名（16.2%），経口薬の準備14名（5.8%）であった．〈検査・測定〉に関する項目では，看護師のみが行っていたのは体温計による体温測定231名（95.9%），自動血圧計による血圧測定232名（96.3%），静脈血採血236名（97.9%）であった．

### ４．本来の看護業務の委譲のあり方および現在の委譲状況との一致の程度

本来の看護業務の委譲のあり方および現在の委譲状況との一致の程度を表３に示した．

#### １）療養上の世話について

〈食事〉に関して一致の程度が最も低かったのは，配膳・下膳であった．看護師だから行うは２名（0.8%）に留まり，98名（40.7%）が本来は看護補助者に委譲するものと回答し，現状の委譲より本来の委譲でより委譲する方に43.1%が回答した．現在の委譲状況と本来の委譲の一致の程度が療養上の世話の中で最も高かったのは，経鼻胃管88.6%や胃瘻79.1%からの栄養剤の注入であった．〈排泄〉に関する３項目とも一致の程度が50%未満であった．特に尿器・便器を使用した排泄介助は，現在は看護師のみで行っていたのは124名（51.5%）であったが，本来看護師だからこそ行うは24名（10.0%）となり，看護補助者と共に行うが153名（63.5%），看護補助者に委譲するが62名（25.7%）となった．おむつ交換は，現在の委譲状況では看護師のみが行っていたが72名（29.9%）であったが，本来の委譲の看護師だから行うは８名（3.3%）に留まり，看護補助者に委譲するが63名（26.2%）となった．膀胱内留置カテーテルに溜まった尿の後始末は，現在の委譲状況では看護師のみで行っていたが178名（73.9%）であるが，本来の委譲は看護師だから行うが58名（24.1%）となり，看護補助者と共に行うが107名（44.4%）になった．

〈清潔〉に関する項目のうち，ベッドメーキングは現在の委譲状況は看護補助者と共に行っているのは187名（77.6%）であったが，本来の委譲は看護補助者と共に行うが62名（25.7%）となり，看護補助者に委譲するが169名（70.1%）となった．清拭は現在の委譲状況は看護師のみ行っていたが78名（32.4%）であったが，本来の委譲では看護師だから行うが17名（7.1%）となり，

## 表３　現在の看護業務の委譲状況，看護師の考えに基づく本来の委譲のあり方，委譲の一致の程度

$N$＝241

| | | 看護業務の内容 | 現在の委譲状況　人（%） | | | | | | 本来の委譲のあり方　人（%） | | | | | | 委譲の一致の程度[a]（%） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 看護師のみ | 看護補助者と共に | 看護補助者に委譲 | 他職種と共に | 他職種に委譲 | 無効回答 | 看護師だから | 看護補助者と共に | 看護補助者に委譲 | 他職種と共に | 他職種に委譲 | 無効回答 | 一致している[b] | 看護師がする方向に | より委譲する方向に |
| 『療養上の世話』 | 〈食事〉 | 1．配膳・下膳 | 5（ 2.1） | 233（96.7） | 1（ 0.4） | 2（ 0.8） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 136（56.5） | 98（40.7） | 2（ 0.8） | 3（ 1.2） | 0（ 0.0） | 55.2 | 1.7 | 43.1 |
| | | 2．食事を口に運ぶような食事介助 | 62（25.8） | 173（71.8） | 1（ 0.4） | 3（ 1.2） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 32（13.3） | 177（73.5） | 25（10.4） | 3（ 1.2） | 1（ 0.4） | 3（ 1.2） | 68.6 | 6.4 | 25.0 |
| | | 3．経鼻胃管からの栄養剤の注入 | 238（98.8） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 3（ 1.2） | 212（88.0） | 21（8.7） | 4（ 1.7） | 2（ 0.8） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 88.6 | 0.0 | 11.4 |
| | | 4．胃瘻からの栄養剤の注入 | 229（95.0） | 8（ 3.3） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 4（ 1.7） | 186（77.2） | 37（15.4） | 14（ 5.8） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 3（ 1.2） | 79.1 | 0.9 | 20.0 |
| | 〈排泄〉 | 5．尿器・便器を使用した排泄介助 | 124（51.5） | 113（46.9） | 2（ 0.8） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 24（10.0） | 153（63.5） | 62（25.7） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 39.7 | 1.7 | 58.6 |
| | | 6．おむつ交換 | 72（29.9） | 166（68.9） | 1（ 0.4） | 2（ 0.8） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 8（ 3.3） | 168（69.7） | 63（26.2） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 49.6 | 1.7 | 48.7 |
| | | 7．膀胱内留置カテーテルに溜まった尿の後始末 | 178（73.9） | 56（23.2） | 6（ 2.5） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 58（24.1） | 107（44.4） | 73（30.3） | 1（ 0.4） | 1（ 0.4） | 1（ 0.4） | 40.8 | 0.4 | 58.8 |
| | 〈移動〉 | 8．歩行付き添い | 62（25.7） | 151（62.7） | 6（ 2.5） | 19（ 7.9） | 1（ 0.4） | 2（ 0.8） | 21（ 8.7） | 144（59.8） | 56（23.2） | 13（ 5.4） | 3（ 1.2） | 4（ 1.7） | 56.6 | 6.0 | 37.4 |
| | | 9．ベッドから車椅子／車椅子からベッドへの移動（移乗） | 40（16.6） | 177（73.5） | 5（ 2.1） | 16（ 6.6） | 1（ 0.4） | 2（ 0.8） | 11（ 4.6） | 171（71.0） | 49（20.3） | 8（ 3.3） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 61.1 | 6.8 | 32.1 |
| | | 10．検査等への車椅子／ストレッチャーによる移動（移送） | 36（15.0） | 196（81.3） | 5（ 2.1） | 3（ 1.2） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 13（ 5.4） | 171（71.0） | 50（20.7） | 5（ 2.1） | 1（ 0.4） | 1（ 0.4） | 67.4 | 3.3 | 29.3 |
| | 〈清潔〉 | 11．ベッドメーキング | 1（ 0.4） | 187（77.6） | 52（21.6） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 62（25.8） | 169（70.1） | 2（ 0.8） | 5（ 2.1） | 1（ 0.4） | 42.9 | 3.3 | 53.8 |
| | | 12．清拭 | 78（32.4） | 163（67.6） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 17（ 7.1） | 175（72.6） | 47（19.5） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 54.2 | 2.5 | 43.3 |
| | | 13．洗髪 | 80（33.2） | 145（60.2） | 16（ 6.6） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 17（ 7.1） | 143（59.3） | 79（32.8） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 45.8 | 3.8 | 50.4 |
| | | 14．口腔ケア | 108（44.8） | 129（53.6） | 1（ 0.4） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 40（16.6） | 158（65.6） | 40（16.6） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 55.7 | 3.0 | 41.4 |
| | | 15．見守りや一部介助の患者の入浴介助 | 45（18.7） | 169（70.1） | 26（10.8） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 15（ 6.2） | 159（66.0） | 65（27.0） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 61.1 | 5.9 | 33.1 |
| | | 16．足浴 | 122（50.7） | 101（41.9） | 16（ 6.6） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 22（ 9.1） | 114（47.3） | 103（42.8） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 32.4 | 1.7 | 66.0 |
| | | 17．陰部洗浄 | 87（36.1） | 152（63.1） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 30（12.4） | 163（67.7） | 46（19.1） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 55.0 | 2.5 | 42.4 |
| | | 18．寝衣交換 | 57（23.7） | 181（75.1） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 12（ 5.0） | 163（67.7） | 60（24.9） | 2（ 0.8） | 1（ 0.4） | 3（ 1.2） | 53.8 | 2.1 | 44.1 |
| | | 19．洗面・髭剃り・結髪等の整容介助 | 84（34.9） | 141（58.5） | 13（ 5.4） | 2（ 0.8） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 13（ 5.4） | 109（45.3） | 114（47.3） | 2（ 0.8） | 1（ 0.4） | 2（ 0.8） | 34.9 | 3.4 | 61.7 |
| 『診療の補助』 | 〈呼吸〉 | 20．酸素ボンベの交換 | 106（44.0） | 54（22.4） | 71（29.5） | 2（ 0.8） | 8（ 3.3） | 0（ 0.0） | 67（27.8） | 39（16.2） | 105（43.5） | 4（ 1.7） | 24（10.0） | 2（ 0.8） | 60.3 | 4.6 | 35.1 |
| | | 21．気管内吸引 | 236（98.0） | 2（ 0.8） | 1（ 0.4） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 222（92.2） | 8（ 3.3） | 1（ 0.4） | 8（ 3.3） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 92.4 | 0.8 | 6.7 |
| | | 22．口腔内・鼻腔内吸引 | 233（96.8） | 3（ 1.2） | 1（ 0.4） | 3（ 1.2） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 206（85.5） | 26（10.8） | 2（ 0.8） | 7（ 2.9） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 87.5 | 0.4 | 12.1 |
| | | 23．ネブライザーの実施 | 232（96.3） | 9（ 3.7） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 174（72.2） | 49（20.4） | 13（ 5.4） | 3（ 1.2） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 72.8 | 1.7 | 25.5 |
| | 〈処置・与薬〉 | 24．創傷処置 | 195（80.9） | 4（ 1.7） | 1（ 0.4） | 39（16.2） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 171（71.0） | 10（ 4.1） | 1（ 0.4） | 52（21.6） | 4（ 1.7） | 3（ 1.2） | 85.6 | 1.7 | 12.7 |
| | | 25．経口薬の準備 | 223（92.5） | 4（ 1.7） | 0（ 0.0） | 14（ 5.8） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 180（74.7） | 13（ 5.4） | 3（ 1.2） | 13（ 5.4） | 31（12.9） | 1（ 0.4） | 77.4 | 1.3 | 21.3 |
| | | 26．経口薬の内服介助 | 179（74.3） | 62（25.7） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 166（68.9） | 61（25.4） | 7（ 2.9） | 3（ 1.2） | 2（ 0.8） | 2（ 0.8） | 72.8 | 10.0 | 17.2 |
| | | 27．外用薬の貼付・塗布 | 191（79.3） | 49（20.3） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 138（57.2） | 79（32.8） | 17（ 7.1） | 6（ 2.5） | 1（ 0.4） | 0（ 0.0） | 65.5 | 4.6 | 29.9 |
| | | 28．点滴のミキシング | 231（95.9） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 9（ 3.7） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 182（75.6） | 2（ 0.8） | 1（ 0.4） | 15（ 6.2） | 40（16.6） | 1（ 0.4） | 76.2 | 0.8 | 23.0 |
| | | 29．点滴ボトルの交換 | 241（100.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 226（93.9） | 2（ 0.8） | 1（ 0.4） | 8（ 3.3） | 3（ 1.2） | 1（ 0.4） | 94.2 | 0.0 | 5.8 |
| | | 30．注射 | 235（97.5） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 5（ 2.1） | 0（ 0.0） | 1（ 0.4） | 205（85.1） | 2（ 0.8） | 0（ 0.0） | 27（11.2） | 6（ 2.5） | 1（ 0.4） | 86.2 | 0.4 | 13.4 |
| | 〈検査・測定〉 | 31．体温計による体温測定 | 231（95.9） | 8（ 3.3） | 0（ 0.0） | 2（ 0.8） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 180（74.7） | 43（17.9） | 8（ 3.3） | 6（ 2.5） | 2（ 0.8） | 2（ 0.8） | 77.7 | 0.8 | 21.3 |
| | | 32．自動血圧計による血圧測定 | 232（96.3） | 6（ 2.5） | 0（ 0.0） | 3（ 1.2） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 185（76.8） | 40（16.6） | 7（ 2.9） | 7（ 2.9） | 1（ 0.4） | 1（ 0.4） | 79.2 | 0.8 | 20.0 |
| | | 33．静脈血採血 | 236（97.9） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 5（ 2.1） | 0（ 0.0） | 0（ 0.0） | 192（79.7） | 1（ 0.4） | 1（ 0.4） | 32（13.3） | 14（ 5.8） | 1（ 0.4） | 79.5 | 1.3 | 19.2 |

*注*．合計回答者241人が看護業務の内容のそれぞれについて現在の委譲状況の項目と本来の委譲の項目に回答している．また，現在の委譲状況と本来の委譲の各項目の回答は，人数（%）で示している．

[a]委譲の一致とは，現在の委譲と本来の委譲について，それぞれ同じ回答形式に１から５の数字を割り当て241人の推移を算出し，ゼロが一致している群，１～４のプラスは看護師がする方向にの群，－１～－４のマイナスがより委譲する方向にの群とした．

[b]一致しているは，（現在の委譲状況と本来の委譲の回答が同じであった看護師の数）÷（現在と本来の両方に回答した看護師の総数）×100で算出した．

看護補助者と共に行うが175名（72.6%），看護補助者に委譲するが47名（19.5%）となった．洗髪も現在の委譲状況は看護師のみが行っていたが80名（33.2%）であったが，本来の委譲は看護師だから行うは17名（7.1%）となり，看護補助者に委譲するが79名（32.8%）となった．足浴は現在の委譲状況では看護師のみが行っていたが122名（50.6%）であるが，本来の委譲では看護師だからこそ行うは22名（9.1%）となり，看護補助者に委譲するが103名（42.8%）となった．洗面・髭剃り・結髪等の整容介助は現在の委譲状況は看護師のみが行っていたが84名（34.9%）であったが，本来の委譲で看護師だからこそ行うは13名（5.4%）に留まり，より委譲の方向に回答したのは61.7%であった．

**２）診療の補助について**

診療の補助に関する看護業務は，現在の委譲状況はほとんど看護師のみが行っており，一致の程度もおおむね70%以上だった．酸素ボンベの交換は現在の委譲状況では看護補助者に委譲しているが71名（29.5%）であるが，本来の委譲は看護補助者に委譲するが105名（43.5%）に増え，一致の程度が60.3%と診療の補助の中で一番低かった．現在の委譲状況では看護師のみが行っていることが多いが，本来の委譲は看護補助者と共に行うと回答が多くなった項目は，口腔内･鼻腔内吸引26名（10.8%），ネブライザーの実施49名（20.4%），経口薬の内服介助61名（25.4%），外用薬の貼付・塗布79名（32.8%），体温計による体温測定43名（17.9%），自動血圧計による血圧測定40名（16.6%）であった．より委譲する方向に20～30%の看護師が回答した．現在の委譲状況では看護補助者にまったく委譲していない状況だが，本来の委譲では看護補助者に委譲すると回答があったのは，ネブライザーの実施13名（5.4%），外用薬の貼付・塗布17名（7.1%），体温計による体温測定８名（3.3%），自動血圧計による血圧測定７名（2.9%）であった．

現在の委譲状況では他職種にまったく委譲していない状況であるが，本来の委譲では他職種に委譲すると回答があったのは，経口薬の準備31名（12.9%），点滴のミキシング40名（16.6%），静脈血採血14名（5.8%）であった．

看護業務すべての中で，現在の委譲状況で看護師のみが行い本来の委譲でも看護師だからこそ行うと回答され，かつ最も一致の程度が高かったのは，点滴ボトルの交換94.2%で次いで気管内吸引92.4%であった．

**５．看護業務の内容別の看護職についての認識に応じた委譲傾向の比較**

看護業務の内容別の看護職についての認識に応じた委譲傾向の比較の結果を表４，表５に示した．

現在の看護業務の委譲状況とそれぞれの看護師の考える看護に基づいた看護業務の委譲のあり方の違いを，各看護業務内容別に「より看護師がする群」と「現在と本来が一致している群」と「より委譲する群」に分けた．看護師個々が現在の状況と本来の委譲のあり方と一致した場合は「現在と本来が一致している群」とし，一致しなかった場合は看護師個々がより看護師がする方に回答したか，より他に委譲する方に回答したかで，「より看護師がする群」「より委譲する群」とした．これらの群間で忙しさと専門性の認識の差を求め，有意差があったものについて療養上の世話は表４，診療の補助は表５に示した．

Kruskal-Wallis 検定を行ったところ，療養上の世話において，19項目のうち業務量が多いと認識しているかによって７項目で有意差が認められた．おむつ交換（$p = 0.000$），陰部洗浄（$p = 0.002$）などである．多重比較を行ったところ，「より委譲する群」は「現在と本来が一致している群」よりも看護業務量が多いと認識していた．看護判断に自信をもっているかでは陰部洗浄ではKruskal-Wallis 検定で有意差があったが，多重比較では有意差は認められなかった．診療の補助では14項目のうちで業務量が多いと認識しているかによって３項目，ネブライザーの実施（$p = 0.008$），創傷処置（$p = 0.027$），外用薬の貼付･塗布（$p = 0.009$）で有意差が認められた．多重比較を行ったところ，創傷処置では有意差はなかったが，他２項目は「より委譲する群」は「現在と本来が一致している群」よりも看護業務量が多いと認識していた．外用薬の貼付・塗布を「より委譲する群」は「現在と本来が一致している群」よりも専門的な知識を保有していると認識していた．看護が専門職として認められている項目で差がある看護業務はなかった．

## Ⅴ．考　　察

看護業務のうち療養上の世話に関しては，現在の委譲状況はほぼ全てが看護師のみというより看護補助者と共に行っていた．多くの看護師は，本来の委譲（それぞれの看護師の考える看護に基づいた看護業務の委譲）のあり方として，現在の委譲状況よりも看護補助者により委譲するものと回答された．診療の補助に関しては現在の委譲状況は看護師のみで行っているものが多く，本来の委譲のあり方でもその多くがそのまま看護師のみで行うものと回答していた．

本調査における療養上の世話の現在の委譲状況で，配膳・下膳とベッドメーキングはほとんどが看護補助者と共に行っており，またベッドメーキングは他の項目よりも看護補助者に委譲していた．齋藤ら[6]が行ったＸ県での調査でも，本調査と同様であり，療養環境の整備に

## 表４　療養上の世話の内容別看護職の認識と委譲傾向の比較　　*N*＝241

| | | 療養上の世話の内容別看護職の認識 | 委譲傾向 より看護師がする(1) *n* | *Mdn*(範囲) | 一致している(2) *n* | *Mdn*(範囲) | より委譲する(3) *n* | *Mdn*(範囲) | p 値 | 多重比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 〈食事〉 | 1．配膳・下膳 | 業務量は多いか | 4 | 4.25（3） | 132 | 4.24（3） | 103 | 4.58（4） | 0.002 | (2)−(3)** |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 4 | 3.50（1） | 131 | 3.60（4） | 103 | 3.75（4） | 0.251 | |
| | | キャリアアップしたいか | 4 | 3.00（2） | 131 | 3.60（4） | 102 | 3.88（4） | 0.035 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 3 | 3.33（1） | 131 | 3.26（4） | 103 | 3.44（4） | 0.172 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 4 | 3.00（2） | 131 | 3.56（4） | 102 | 3.62（4） | 0.317 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 4 | 3.67（2） | 131 | 3.77（4） | 103 | 3.76（4） | 0.989 | |
| 〈排泄〉 | 6．おむつ交換 | 業務量は多いか | 4 | 4.50（1） | 118 | 4.18（4） | 116 | 4.58（4） | 0.000 | (2)−(3)*** |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 4 | 3.50（1） | 117 | 3.62（4） | 116 | 3.72（4） | 0.441 | |
| | | キャリアアップしたいか | 4 | 4.25（1） | 117 | 3.60（3） | 115 | 3.81（4） | 0.128 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 4 | 3.25（4） | 117 | 3.32（4） | 115 | 3.37（4） | 0.825 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 4 | 3.67（1） | 117 | 3.61（4） | 115 | 3.55（4） | 0.834 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 4 | 3.67（4） | 117 | 3.61（4） | 116 | 3.68（4） | 0.378 | |
| 〈清潔〉 | 11．ベッドメーキング | 業務量は多いか | 8 | 4.29（2） | 102 | 4.26（3） | 128 | 4.51（4） | 0.033 | (2)−(3)* |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 8 | 3.43（2） | 101 | 3.56（4） | 128 | 3.77（4） | 0.062 | |
| | | キャリアアップしたいか | 8 | 3.50（3） | 100 | 3.64（4） | 128 | 3.80（4） | 0.448 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 8 | 3.00（2） | 100 | 3.30（4） | 128 | 3.39（4） | 0.318 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 8 | 3.40（3） | 100 | 3.62（4） | 128 | 3.56（4） | 0.731 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 8 | 3.50（1） | 101 | 3.97（4） | 128 | 3.63（4） | 0.005 | (2)−(3)** |
| | 12．清拭 | 業務量は多いか | 6 | 4.33（1） | 130 | 4.30（4） | 102 | 4.52（3） | 0.057 | |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 6 | 3.80（2） | 129 | 3.63（4） | 102 | 3.71（4） | 0.527 | |
| | | キャリアアップしたいか | 6 | 4.33（2） | 128 | 3.55（4） | 102 | 3.92（4） | 0.005 | (2)−(3)* |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 6 | 3.75（3） | 129 | 3.27（4） | 101 | 3.40（4） | 0.208 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 6 | 4.20（2） | 128 | 3.58（4） | 102 | 3.55（4） | 0.167 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 6 | 4.20（2） | 129 | 3.76（4） | 102 | 3.76（4） | 0.450 | |
| | 13．洗髪 | 業務量は多いか | 9 | 4.38（2） | 109 | 4.29（3） | 120 | 4.49（4） | 0.132 | |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 9 | 2.71（3） | 108 | 3.66（4） | 120 | 3.72（4） | 0.021 | (1)−(2)*(1)−(3)* |
| | | キャリアアップしたいか | 9 | 4.00（3） | 107 | 3.67（4） | 120 | 3.74（4） | 0.683 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 9 | 2.71（3） | 108 | 3.33（4） | 119 | 3.38（4） | 0.183 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 9 | 3.50（3） | 107 | 3.61（4） | 120 | 3.56（4） | 0.860 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 9 | 3.67（3） | 108 | 3.79（4） | 120 | 3.76（4） | 0.956 | |
| | 14．口腔ケア | 業務量は多いか | 7 | 4.33（3） | 131 | 4.28（3） | 97 | 4.55（4） | 0.017 | (2)−(3)* |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 7 | 3.40（3） | 130 | 3.60（4） | 97 | 3.74（4） | 0.203 | |
| | | キャリアアップしたいか | 7 | 4.29（1） | 129 | 3.66（4） | 97 | 3.75（4） | 0.141 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 7 | 3.40（3） | 130 | 3.26（4） | 96 | 3.44（4） | 0.174 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 7 | 3.67（2） | 129 | 3.56（4） | 97 | 3.59（4） | 0.857 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 7 | 4.17（4） | 130 | 3.77（4） | 97 | 3.74（4） | 0.571 | |
| | 16．足浴 | 業務量は多いか | 4 | 4.50（1） | 77 | 4.22（3） | 155 | 4.48（4） | 0.043 | (2)−(3)* |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 4 | 3.50（3） | 77 | 3.67（4） | 155 | 3.67（4） | 0.970 | |
| | | キャリアアップしたいか | 4 | 4.33（3） | 76 | 3.68（3） | 155 | 3.73（4） | 0.655 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 4 | 3.50（3） | 77 | 3.38（4） | 155 | 3.32（4） | 0.786 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 4 | 3.67（3） | 76 | 3.69（4） | 155 | 3.53（4） | 0.256 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 4 | 3.67（2） | 77 | 3.96（4） | 155 | 3.70（4） | 0.141 | |
| | 17．陰部洗浄 | 業務量は多いか | 6 | 4.00（3） | 131 | 4.25（4） | 99 | 4.57（3） | 0.002 | (2)−(3)** |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 6 | 3.80（2） | 130 | 3.56（4） | 99 | 3.80（4） | 0.043 | (2)−(3)* |
| | | キャリアアップしたいか | 6 | 4.00（2） | 129 | 3.61（4） | 99 | 3.88（4） | 0.081 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 6 | 3.80（2） | 130 | 3.24（4） | 98 | 3.43（4） | 0.046 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 6 | 3.80（2） | 129 | 3.57（4） | 99 | 3.60（4） | 0.732 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 6 | 4.20（2） | 130 | 3.80（4） | 99 | 3.70（4） | 0.304 | |

*注*．委譲傾向とは，合計回答者241人をより看護師がする，本来の委譲と現実の委譲が一致している，より委譲するの３群に分けている．
Kruskal-Wallis 検定を行い，多重比較は Bonferroni 多重比較法を用いた．部分標本 n が３以下の検討では，Kruskal-Wallis 検定の別表を用いた．
また，多重比較の有意確率は＊ $p<0.05$，＊＊ $p<0.01$，＊＊＊ $p<0.01$とした．

## 表５　診療の補助の内容別看護職の認識と委譲傾向の比較　　*N*＝241

| | | 診療補助の内容別看護職の認識の内容 | 委譲傾向 より看護師がする(1) *n* | *Mdn*(範囲) | 一致している(2) *n* | *Mdn*(範囲) | より委譲する(3) *n* | *Mdn*(範囲) | p 値 | 多重比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 〈呼吸〉 | 23．ネブライザーの実施 | 業務量は多いか | 4 | 4.50（1） | 172 | 4.30（4） | 61 | 4.63（3） | 0.008 | (2)−(3)** |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 4 | 3.33（3） | 171 | 3.63（4） | 61 | 3.79（3） | 0.241 | |
| | | キャリアアップしたいか | 4 | 3.25（3） | 170 | 3.59（4） | 61 | 4.11（3） | 0.002 | (2)−(3)** |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 4 | 3.00（3） | 170 | 3.31（4） | 61 | 3.44（3） | 0.297 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 4 | 3.33（3） | 170 | 3.54（4） | 61 | 3.75（4） | 0.170 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 4 | 3.25（3） | 171 | 3.78（4） | 61 | 3.76（4） | 0.893 | |
| 〈処置・与薬〉 | 24．創傷処置 | 業務量は多いか | 4 | 4.00（0） | 200 | 4.37（4） | 30 | 4.72（3） | 0.027 | ns |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 4 | 4.00（0） | 199 | 3.62（4） | 30 | 3.91（4） | 0.090 | |
| | | キャリアアップしたいか | 4 | 4.33（3） | 198 | 3.68（4） | 30 | 3.90（3） | 0.378 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 4 | 3.75（1） | 199 | 3.34（4） | 30 | 3.23（4） | 0.333 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 4 | 4.25（1） | 198 | 3.58（4） | 30 | 3.48（3） | 0.150 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 4 | 4.00（0） | 199 | 3.79（4） | 30 | 3.58（4） | 0.421 | |
| | 27．外用薬の貼付・塗布 | 業務量は多いか | 11 | 4.55（1） | 156 | 4.28（4） | 72 | 4.58（3） | 0.009 | (2)−(3)** |
| | | 専門的な知識を保有しているか | 11 | 3.50（2） | 155 | 3.58（4） | 72 | 3.87（3） | 0.014 | (2)−(3)* |
| | | キャリアアップしたいか | 11 | 3.60（4） | 154 | 3.69（4） | 72 | 3.75（3） | 0.794 | |
| | | 看護判断に自信をもっているか | 11 | 3.33（3） | 155 | 3.26（4） | 71 | 3.50（3） | 0.066 | |
| | | 看護にやりがいをもっているか | 11 | 3.67（4） | 154 | 3.54（4） | 72 | 3.66（3） | 0.529 | |
| | | 看護職は専門職として認められているか | 11 | 3.29（3） | 155 | 3.77（4） | 72 | 3.83（4） | 0.182 | |

*注*．委譲傾向とは，合計回答者241人をより看護師がする，本来の委譲と現実の委譲が一致している，より委譲するの３群に分けている．
Kruskal-Wallis 検定を行い，多重比較は Bonferroni 多重比較法を用いた．また，多重比較の有意確率は＊ $p<0.05$，＊＊ $p<0.01$とした．

関するもの（ベッドメーキング等）は施設規模に関わらず相当程度看護補助者が担っていたと報告している．看護補助者の業務内容で療養上の世話の中でも食事，清潔に占める割合が大きい[11]．本調査で，現在の委譲状況よりも本来の委譲のあり方を照合すると，清潔の項目はさらに看護補助者に委譲したいと回答するものが多かった．加えて排泄に関する援助も同じであった．吉川ら[12]が行った調査でも，看護師は療養上の世話に関する看護業務を看護補助者らに委譲したいという結果が出ている．このような看護業務を看護補助者に委譲する，あるいは委譲したい背景には，看護業務の増加に加え，患者や家族などの権利意識の向上などにより現場の繁忙や多重責務がある[13]と考えられる．

本調査では多くの看護師は知識を持ち，専門職として認められていると認識して職務研鑽に努め，やりがいを感じていると回答したが，看護業務量は多いと感じている看護師が約８割と多かった．業務量が多いと認識している看護師はおむつ交換などの療養上の世話を委譲するものと回答していた．どの看護業務であれば看護補助者に委譲できるのか．気管内吸引などの診療の補助を資格のない看護補助者が担えないため委譲するわけにはいかず，当然委譲するものから除かれることになる．そして，食事や清潔などの療養上の世話は資格のない看護補助者であっても指示（実施可能な範囲）があれば委譲の対象となりうる．療養上の世話が看護補助者に委譲されるのは現場の自然ななりゆきとも考える．そして，今後もこの状態は続き，国の方針としても進められていくと思われる．したがって，療養上の世話は看護の独占業務であり専門性が発揮できる領域である[1]ものの，看護師のみで行うというよりは，看護補助者とのチーム活動による看護サービスとしてとらえるのが[14]適切ではないかと考える．

2019年に日本看護協会から発行された「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン」[15]で，看護職の職能団体として看護補助者の活用の考え方を示している．そこには，療養上の世話は看護師の法で定められた業務独占であり，看護補助者は療養上の世話も診療の補助も実施することはできないと明記されている．厚生労働省通知において看護補助者はその業務が療養上の世話ではなく，療養生活上の世話であれば実施できるものとしている．それは，看護師が対象者の状態を把握した上で的確なアセスメントをし，看護補助者にどう実施するかを指示することで可能となり，看護師はその一連に責任があると述べている．看護師はその行為が療養上の世話となるのか，療養生活上の世話となるのかを判断しなければならない．看護師は，看護補助者の力量にあわせて指示し実施されたすべての責任が伴うという観点から，これまで以上の臨床判断やチーム活動の調整能力が求められてくるのではないだろうか．

ところが，看護業務が看護補助者に特に療養上の世話が委譲されてきている現況で，看護業務の過度な委譲から看護師が育ちにくい，看護師と看護補助者の連携や業務分担の難しさから不適切なケアの実施などの課題が浮かび上がってきている[16]．本調査において看護補助者への委譲には看護師の業務量が多いという認識と関連があったが，看護判断に自信があるや専門的な知識を保有しているという認識とは関連がなかった．これは，業務量の多さから安易に看護業務を看護補助者に委譲すると看護師が考えている可能性を否定できないのではないかと考える．今後，ますます看護補助者との協働が必要になってくると予想される．看護師と看護補助者が看護チームとして協働するためには，臨床における個々の看護師自身の看護判断と療養上の世話も含めたケア能力を身に付けていることが必須となる．看護師が専門性に立脚した実践力をもつことによってはじめてチームとして看護サービスを提供できるものと考える．

## Ⅵ．研究の限界と今後の展望

本調査は，回答者が病床数200床から500床未満，中堅の意見が反映されている傾向にある．福島県をそのまま代表するとまでは言えない．今回看護業務の委譲状況で療養上の世話の多くが看護補助者とともに行っており，本来の看護の考えに基づいた委譲のあり方は，さらに委譲するものと考えていたことが分かった．今後は病棟の特性や各施設における看護補助者の勤務体制や看護補助者の背景などによって委譲状況が異なるかを検討することも必要と考える．また，委譲状況を業務内容で区切ったものでなく，対象者の状態からの業務委譲で調査することで，看護師と看護補助者が看護チームとして協働できるための基礎資料が提示できると考える．

## Ⅶ．結　　論

1．療養上の世話は現在，ほとんど看護補助者と共に行っており，それぞれの看護師が考える看護に基づいた本来の委譲のあり方はより看護補助者と共にや看護補助者に委譲という回答が多く，看護師だから行うとの回答が増えた項目はなかった．一方，診療の補助は現在看護師のみが行っていることが多く，本来も看護師だから行うとの回答が多かった．
2．看護師は，専門的知識を保有し，看護にやりがいを感じ，キャリアアップなど職務研鑽に努めていたが，

看護業務量が多いと感じる看護師は８割程度と多かった.

３．現在の委譲状況と本来のあり方の委譲で，より委譲する傾向に回答された看護業務の項目では看護師は業務量の多さを認識していた.

**謝　　辞**

本研究にご協力いただきました，福島県内の病院の看護責任者および看護師の皆様に深く感謝申し上げます.

本研究は，平成29年度公益財団法人大同生命厚生事業団地域保健福祉研究助成事業の助成，福島県立医科大学男女共同参画研究支援制度を受けて実施した．また，第13回看護実践学会学術集会で発表したものに加筆・修正したものである.

## 引　用　文　献

１）公益社団法人　日本看護科学学会：看護学を構成する重要な用語集，https://www.jans.or.jp/uploads/files/committee/2011_yougo.pdf.（2016年１月閲覧）

２）早川佐知子：看護補助者の活用と課題　アメリカ Certified Nursing Assistant との比較から，日本医療経済学会会報, 31(1)，79-115，2014.

３）福井とし子編：看護補助者活用推進のための看護管理者研修テキスト，3，10-11，公益社団法人日本看護協会，2013.

４）福井とし子編：看護補助者活用事例集，公益社団法人日本看護協会，2013.

５）公益社団法人　日本看護科学学会：第13・14期看護学学術用語検討委員会報告書，https://www.jans.or.jp/uploads/files/committee/yougo_houkokusho2019.pdf.（2020年11月閲覧）.

６）齋藤信也，吉川あゆみ：看護補助者への看護業務の委譲，日本医療・病院管理学会誌，51(Supple)，195，2014.

７）秋葉沙織，石津みゑ子：中堅看護師の職業的アイデンティティと「療養上の世話」への認識との関連，北日本看護学会誌，2，11-21，2014.

８）川島みどり：今，看護の本流を問う意味，日本看護技術学会誌，14(2)，2015.

９）中田登紀江，小林廣美，藤原早百合他：中堅看護師が行う「療養上の世話」における看護判断に影響する要因，第42回日本看護学会論文集　看護管理，284-286，2012.

10）厚生労働省：「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会」報告書，https://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/03/s0310-6.html.（2016年１月閲覧）.

11）龍本祐子，水口果奈，宮脇総恵他：看護補助者との協働・連携－タイムスタディ・職務満足度調査から見えたもの－，日本看護学会論文集　看護管理，46，215-218，2016.

12）吉川あゆみ，齋藤信也：Ｘ県内における看護師と看護補助者間の業務分担のあり方と今後の課題　看護補助者への業務の委譲が看護師の専門性に与える影響，神戸市看護大学紀要，24，19-28，2020.

13）梁ヨリ子，小林廣美，藤原早百合他：Ａ県下の中堅看護師が行う療養上の世話に置ける看護師の自立に関する実態調査　第一報，日本看護学会論文集　看護教育，41，34-37，2011.

14）永池京子：チーム力につながる看護業務の委譲，Nursing BUSINESS，11(12)，1062-1066，2017.

15）日本看護協会：看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド，公益社団法人日本看護協会，2019.

16）中岡亜希子，三谷理恵，冨澤理恵，澁谷　幸：急性期病院の看護師と看護補助者との協働における課題－看護師のインタビューより－，大阪府立大学看護学雑誌，22(1)，1-9，2016.